

東京商工会議所 サービス・交流部

感染症対応力向上プロジェクト 実施報告書

東京商工会議所 サービス・交流部

2016年2月2日

I. プロジェクト概要

1. 目的

職場で感染症が発生した場合、職場内で感染が広がることが危惧され、インフルエンザやノロウィルス等の身近な感染症により、企業活動に支障が出ることがある。平成 24 年から 25 年にかけての大規模な風しんの流行では、患者の大多数が働く世代であった。本プロジェクトでは、東京都、東京商工会議所、および東京都医師会が連携し、企業の感染症対策を支援するものである。

2. 実施計画

1) 期間

2015 年 10 月開始。終了期日は未定。

2) プロジェクトの内容

感染症に対する必要な知識の習得、風しん予防対策などを実践するために、3 コースを提示し、企業・事業所の取り組みを促進する。

	コース名	サポート内容	達成基準
コースⅠ	感染症理解のための従業員研修	感染症の基礎知識ドリル（研修教材）を提供し、正しい知識の定着を図る。	従業員の 8 割以上が教材受講
コースⅡ	感染症 BCP（業務継続計画）の作成	BCP のひな形を提供し、職場で感染症患者が発生した場合に、業務を円滑に継続するための対処策の作成を図る。	事業所単位での BCP 作成
コースⅢ	風しん予防対策の推進	予防接種等協力医療機関を紹介し、従業員の抗体（免疫）保有の確認や予防接種の推奨等を促し、職場ぐるみで風しん予防を図る。	風しん抗体保有者が従業員の 9 割以上

3) 事業所が取り組むコースの流れ

- ① 都内企業等に事業周知、事業説明会の開催、事業案内送付
- ② 都内企業・事業所が参加申し込み ⇒ 東京都 HP に協力企業・事業所として掲載
- ③ コース実施
- ④ 基準達成 ⇒ 報告書提出 ⇒ 東京都 HP に達成企業・事業所として掲載

4) 東京商工会議所における プロジェクト推進活動

- ① 本プロジェクト事業説明会(健康経営セミナー)の実施
 - ・対象：企業、団体等に勤める人事、労務、衛生管理担当者等
 - ・内容：事業概要、事業実施方法、その他健康に関するセミナー
 - ・日程及び会場：平成 27 年 10 月末～12 月中旬、都内 5 か所にて実施

② 展示会(データヘルス・予防サービス見本市 2015)への出展

開催日時：平成 27 年 12 月 15 日 10:00～18:00

開催場所：東京国際フォーラム ホール B7

主催者：厚生労働省

展示内容：・ E-Learning によるコース I の紹介

・ 動画放映による感染症予防啓発

・ パネル展示による感染症予防啓発、プロジェクト紹介

・ 案内チラシの配布、教材サンプル等の展示によるコース内容紹介

II. プロジェクト推進状況 (平成 28 年 1 月 20 日現在)

1. 事業説明会の実施状況

1) 事業説明会開催概要

各回の次第 (14:00 開会, 16:00 閉会)

① (初回のみ) 東京都福祉保健局感染症危機管理担当部長、東京都医師会副会長、
東商「健康づくり・スポーツ振興委員会」委員長 挨拶

② (初回のみ) 基調講演「グローバル化する感染症 ～職場でできる対策とは～」

講師：国立感染症研究所 感染症疫学センター 第三室長 多屋 馨子氏

③ 東京都福祉保健局より、本事業の目的、内容の説明

④ 東京商工会議所より、本事業の申し込み、達成時報告方法等案内

※第 2 回から第 5 回については、東京商工会議所主催の下記セミナーと合同開催

健康経営推進事業等関連セミナー (下記より各回 1 件もしくは 2 件)

「12 月からいよいよ義務化開始！ストレスチェックの実務対応」

「転倒災害防止対策について」

「改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度について」

東京商工会議所支援メニューの紹介

2) 事業説明会への参加状況

日付	開催場所	申込者数	出席者数	出席率	アンケート回答数
H27.10.28	新宿 NS ビル(新宿区)	194	155	80%	99
H27.11.04	北とぴあ(北区)	49	47	96%	41
H27.11.09	すみだ産業会館 (墨田区)	74	57	77%	33
H27.12.11	大田区産業プラザ PIO(大田区)	86	62	72%	36
H27.12.14	立川商工会議所 (立川市)	41	34	83%	25
合計		444	355		234

3) アンケート回答 (抜粋)

質問 1. 説明会の感想をお聞かせください。(※未回答あり)

	新宿区	北区	墨田区	大田区	立川市	合計	構成比
大変参考になった	51	14	15	18	12	100	51.2%
まあまあ参考になった	31	21	16	10	8	86	40.0%
普通	9	0	1	6	2	18	8.4%
あまり参考にならなかった	0	1	0	0	0	1	0.5%
全く参考にならなかった	0	0	0	0	0	0	0.0%

自由記述として、以下のような感想があった。

- ・大変参考になった。(3件)
- ・もっとよく知りたい。教えてほしい。(5件)
- ・具体的な対策の話をもっと聞きたかった。(2件)
- ・良い取り組みだと感じた。プロジェクトに関心がある。検討したい。(5件)

質問 3. 職場において、感染症に関する啓発活動に取り組んだことがありますか？(※未回答あり)

	新宿区	北区	墨田区	大田区	立川市	合計	構成比
はい	63	21	20	23	18	145	63.0%
いいえ	34	19	13	13	3	85	37.0%

啓発活動に取り組んだ感染症として、下記の回答があった。

インフルエンザ (71件), ノロウイルス (36件), 風しん (2件), その他 (15件)

具体的な活動内容としては、下記の回答があった。

- ・注意喚起：メール, 朝礼, 掲示板, ポスター (36件)
- ・予防接種の補助 (8件)

質問 5. 平成 24 年から 25 年にかけて風しんが流行した際、職場として何か対策を実施しましたか？

(※未回答あり)

	新宿区	北区	墨田区	大田区	立川市	合計	構成比
はい	18	6	3	5	5	37	16.6%
いいえ	78	33	29	31	15	186	83.4%

具体的な実施内容としては、下記の回答があった。

- ・注意喚起：メール, 掲示板, マスク配布, 手洗い奨励
- ・ワクチン接種有無の確認, 接種呼びかけ, 接種補助,
- ・BCP 作成

2. 展示会「データヘルス・予防サービス見本市 2015」出展状況

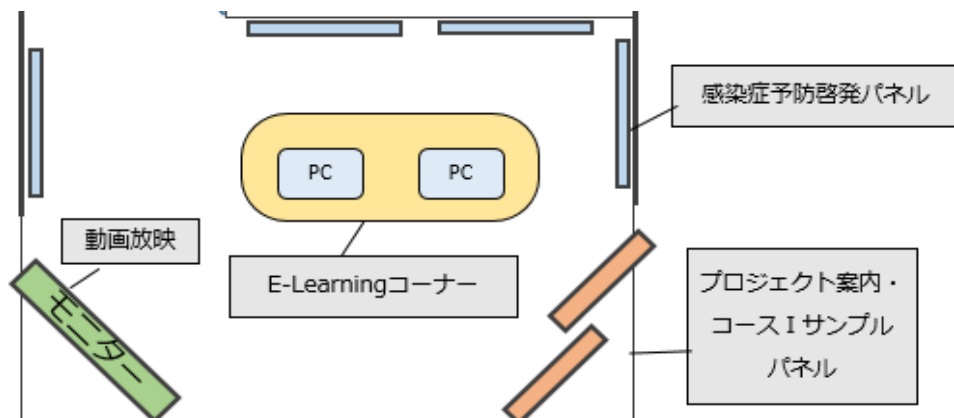
1) 展示会への来場者数

当日入場者 : 2,919 名

事前登録者 : 5,448 名 (※当日会場混雑のため、入場できなかった来場者が多数発生)

2) 東京商工会議所ブースにおける展示、案内等

【 展示会当日の東京商工会議所ブースレイアウト 】



① E-Learning による感染症対応力向上プロジェクトの紹介

- ・コース I (感染症理解のための従業者研修)のテキスト内容を E-Learning(デモ版)化し、ノートパソコン 2 台でブース訪問者に体験いただいた。

(サンプル問題 : 全 50 問, うち基礎知識 5 問, 各感染症知識 45 問)

② モニターでの動画放映による感染症対策等の案内

- ・「ガチャピン・ムックの正しい手洗い」(東京都福祉保健局)
- ・「今すぐ役立つ! 感染症予防」(東京都福祉保健局)
- ・「がん治療と仕事の両立」(東京都福祉保健局)

③ パネルによるプロジェクトの紹介、および感染症対策等の案内

- ・プロジェクト案内パネル
- ・コース I サンプル問題パネル 3 種類
- ・風しん対策啓発パネル 4 種類
- ・その他感染症予防啓発パネル (インフルエンザ, デング熱, エイズ, 結核)

④ プロジェクト案内チラシ、募集要項の配布、コース I、II のサンプル展示

⑤ マスコットキャラクターによる応援

平成 27 年度東京都インフルエンザ予防啓発キャンペーン マスコットキャラクター
ガチャピン登場 30 分 X 3 回

3) 当日のトピック

厚生労働副大臣 竹内譲氏 ご来場。東京商工会議所ブースへ立ち寄られる。

Ⅲ. 企業等参画状況（H28.2.2 現在）

1. コースの申し込み状況

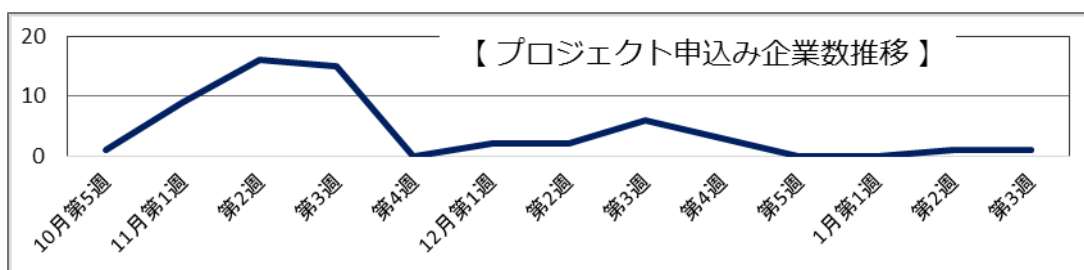
コースの申し込みを受け、教材を送付した企業、事業所は、以下のとおりである。

(平成 28 年 2 月 2 日現在)

	コースⅠ (従業員研修)	コースⅡ (BCP 作成)	コースⅢ (風しん対策)	合計 (延べ数)
企業数	53	37	13	103
事業所数	63	47	23	133
対象従業員数	10,781	－	926	－

※コースの重複を除いた申し込み件数は、58 企業、68 事業所

※参考：申し込み企業数の推移



事業説明会各回の直後、および展示会開催直後に申し込み数が増えており、プロジェクトの周知効果がみられる。

2. コースの達成状況

プロジェクト実施報告書の提出を受け、東京都 HP に掲載された企業、事業所は、以下のとおりである。

	コースⅠ	コースⅡ	コースⅢ
企業数	5	0	0
事業所数	5	0	0
対象従業員数	237	0	0

もっとも早い事業所では、申し込みから 24 日でコースⅠの達成報告があった。(従業員数 51 名)
従業員 140 名の事業所では、申し込みから 50 日後に、コースⅠ達成報告があった。

IV.コースⅢ(風しん予防対策)に取り組む企業へのヒアリング

1) 実施期間

平成 28 年 1 月 12 日(火)~18 日(火)

2) ヒアリングの目的

本プロジェクト参画企業における取り組み状況を把握し、改善やサポートにつなげる。

3) ヒアリング実施企業 5 社

業種	製造業	建設業	サービス業	情報通信業	医療
従業員数	3 名	102 名	101 名	200 名	27 名
申し込みコース	全コース 申し込み	全コース 申し込み	全コース 申し込み	全コース 申し込み	コースⅠ,Ⅲ 申し込み,

4) ヒアリング内容 (プロジェクト全般について)

① 本プロジェクトへの参加理由・目的

- ・従業員に正しい知識を身につけてもらいたい。
- ・経営者自身、感染症について学ばなければという問題意識がある。
- ・年間の従業員教育コンテンツの一環に、組み込む計画である。
- ・現場の従業員、監督者が感染症に感染すると業務への影響が大きい。操業停止の恐れもある。
- ・問題意識があったが日々の業務等が忙しく機会がなかったところ、本事業を知った。

② 取り組みを始めた感想

- ・問題形式になっており、進めやすい。(コースⅠ)
- ・ひな型が用意されているので導入しやすいと感じている。(コースⅡ)

③ 本プロジェクト以外の健康への取り組み

- ・年 1 回の定期健康診断のみ。定期健診以外は入社前検診のみ
- ・35 歳以上の従業員全員、人間ドック受診。結果を受けて総務部で個別フォローしている。

④ 会社・経営者の、従業員の健康についての考え

- ・社風として社員の健康管理に積極的である。「人は財産」と経営者自身が従業員に伝えている。

5) ヒアリング内容 (コースⅢについて)

① コースⅢ(風しん予防対策)への申し込み理由

- ・説明会の講演を聴いて、風しん対策もリスクマネジメントの一つとして考えるようになった。
- ・女性従業員を増やしていきたいので、その保護策として時間をかけて取り組んでいきたい。
- ・平成 25 年の流行が記憶にあった。
- ・とりあえず、全コースを申し込んだ。

②コースⅢの実施計画、実施状況

- ・取り組み方法等、これから検討に入る。
- ・まずはコースⅠ、Ⅱに取り組んで、次の段階でコースⅢに取り組む予定である。
- ・従業員に対する風しん抗体検査や予防接種の費用補助を検討している。

③コースⅢ実施にあたっての課題

- ・区市町村の抗体検査や予防接種の助成事業を活用する方法もあるが、住民が対象のため、従業員に、休みの日に地元の医療機関に行ってもらい、強制はできない。
- ・従業員の健康診断に風しん抗体検査を追加することも検討しているが、費用がかかるため、マネジメント部門を納得させるのが難しい。
- ・風しんの予防接種は自由診療となるため、保険適用外であり料金が大きい。
- ・従業員に、過去の予防接種歴や罹患歴を確認することは、個人情報保護との兼ね合いがあり、慎重になる。
- ・コースⅢの実施に何かインセンティブはないのか。

V. 今後のプロジェクト推進活動予定

1. プロジェクト参加問い合わせ、申し込み受け付け等の事務を円滑に実施
2. 申し込み企業、目標達成企業を随時、東京都に情報提供
3. 目標達成企業への達成確認書作成・送付
5. 申し込み企業へのヒアリングの実施等により、取組状況を把握し、相談・支援等のサポートを継続実施

以上